

Share The Vision

ライオンズクラブ国際協会



333-C

1982-83 No. 2

地区ニュース

しあわせ あした
愛の手で幸福の明日を

1982. 9. 30.



主な内容

ガバナーの便り	2
第一回キャビネット会議	3
国際会長紹介	5
輝く国際会長賞授賞者	8
共同大型ACTへの考察	10
YE サマーキャンプ	11
アクティビティーズ	12
TT 合同研修会	17
しげん・めいげん	19



INTERNATIONAL

IONS



ガバナーの便り



出来ることから

我が家には目の中に入れても痛くない程可愛がって居る一匹のマルチーズ犬が居る。こいつを毎朝散歩に連れ出して歩くのですが、早朝道すがらすれちがう人達に面識の有る無しに係らず、「お早よう」とか、「お早よう御座居ます」と声をかけて挨拶する事にしている。声をかけられた相手は大抵は「お早よう御座居ます」と声を返して呉れるが、時には無視される事がある。その時私は心の中でこう呟いて居る。「これでいいんだ。相手は咄嗟に識らない相手から挨拶され吃驚したんだ。今時こんなふうに識らない人に挨拶する人も居るんだな、俺もこの次は声を返さなきゃいけないかも知れない」なんて思っ歩いて居るかもしれない、なんて自分一人で納得する。果せるかな、その人に次に逢った時には、「お早よう御座居ます」って言うてくれた。その次に逢った時には、向うから先に「お早よう御座居ます」って言うてくれる。その次には「散歩ですか、毎日大変ですね」なんて言葉を交してくれるようになる。私はとっても嬉しい。何処に住み何処へお勤めに行くのか知らない人だが、友達が一人増えたようなついつい口笛の一つも吹きたくなるような朗らかな気分になり、早朝の空気がとりわけ美味しく感ずるのである。その人もきっと楽しい気分でお勤めに行けるであろう。近頃対人関係が非常に冷たい世相である。特に都会に於てその傾向が強い。又子供は全く挨拶と云うものを知らない。「お早よう」、「今日は」、「どうも有難う」は対人関係の第一歩である。我々は身近かな出来る事から始めようではありませんか。理想を追求するのも結構だが、大言壮語してなん

333-C地区ガバナー 藤田 定男

にもしないのでは意味はない。ライオンズクラブには評論家は要らない。出来そうもない事を追い求めるより、出来る事からどんどん勇敢にアタックして行こうではありませんか。昔学生の頃、山武郡か何処かの田舎道で、のらぬりのお婆さんがすれちがひざまびょこんと私におじぎして、「おあがんな」と云って通り過ぎて行った。吃驚した私は、ぼかんとして居たが、あとで聞いたら「おあがんな」と云うのはその地方の方言で「今日は」と云う事だそうです。40年もたった今日でも私は、あーあの時なんで「今日は」と云ってあげなかったのかと後悔して居る次第です。

出来る事と云えば、皆様には是非お伝えしたい事があります。風間俊雄ライオン(館山中央)が去る7月29日永眠されました。氏の生前のライオンズ活動は、デュピティガバナーもおやりになった知人ぞ知る活動家でしたが、御逝去されるに当り、御本人の御遺志と御遺族の深い人類愛に根ざした御理解により角膜を提供され、一人の光明を失いたる人を救う事が出来たのであります。人生最期の時まで奉仕に徹せられた故風間ライオン並びに御遺族に敬虔なる謝意を述べると共に、皆様方にも是非この事実を知って戴きたい。故川合ライオンに次いで二番目とか、皆様に続けとは申せません。何故なら私の愛する地区会員の皆様全員何時までもお元気で奉仕の道を歩んで戴きたいからです。しかしライオンたる者人生の最期はかくありたいと願うものであります。

地区ガバナー

地区ガバナーは多数のライオンズ会員が接する。国際協会最高の代表者である。従って地区内クラブを訪問するガバナーは、国際協会の公式代表者でありますから、各クラブ会長、委員長は品位ありしかも和やかな訪問が出来るように、充分な配慮をお願いします。地区ガバナーの旅程には充分注意し、また充分な時間的余裕を見て与えるようにして下さい。

・この項の出るころは、公式訪問も各地で酣かと思ひます藤田ガバナーは豪気闊達にして卒直、内面に溢るゝ情熱を明晰な洞察力を豊かな知性で包んで

付和雷同することのない見識の人です。

日本人の自覚・誇り、日本人として忘れかけているものを、ライオニズムの中に呼びかけております古き至情が新鮮さとは、ライオニズムの中に愛の真実をこめているからだと思ひます。藤田ガバナーは単県2年目、当地区にとっては最も相応しい腰のすわったガバナーだと思います。

第1回 キャビネット会議開催

於 ニューパークホテル

7月25日(日) 午前10:00～午後4:00

於 千葉ニューパークホテル

新緑がいつか旺盛なみどりを増し、梅雨の名残りの雨がその葉を濡していた日、

単県2年目、第1回キャビネット会議はガバナーL藤田定男の挨拶によって始まる。

第65回国際年次大会において、新国際会長就任とともに、ガバナーに任命された報告。

前古原ガバナーの式場理念継承され立派な地区の基礎を築きあげたことに、深い感謝の意を表明、この基礎を土台に皆んなで努力し、全力投球で大きく飛躍することを要請し、国際大会における3つの特徴として、第1に村上前国際会長の国連平和賞の授賞の喜び、第2として、米国前大統領の大会出席の意義と、第3として新国際会長の方針を刻明に説く、「キャビネット会議は、その年の基を作る重要な会議である」とうながし、「キャビネット構成員を交響曲に例えるならば、バイオリン、フルート、等々様々な楽器の演奏者が指揮のもと譜面に忠実に、かつ最大の音色を出す、これが交響されて素晴らしいメロディーとなり聴衆を魅了する、ガバナーはガバナーで、ZCはZCそれぞれの役職の方は、それぞれの立場に於て全力投球をされ、もしそこに不響和音を出したならば、その交響楽はメチャメチャである。

すべての人が自分の職分を全うしてこそ、素晴らしいキャビネットが出来る。どうか皆さんには、俺はこれだけやったんだ、もうこれ以上逆さにしても鼻血も出ないという充実した1年を過し、誇りをもって次期キャビネットにバトンタッチしたい」、と力強く結んだ。——会議は藤田ガバナーの情熱に点火された如く、ライオニズムの真隨に迫る2R1Z、林ZCの提案等々、和やかな中にも真剣な討議を交す、以下各部委員会会議を経た決議事項は下記の通り。

ガバナー 提出 議案

1. 地区監査委員委嘱の件、下記Lに委嘱したい。
L 関口博之(市川) L 浅野芳昭(船橋)
決議 原案通り承認する。
2. YE LEO特別委員委嘱の件、下記Lに1982年8月31日迄YE LEO特別委員を委嘱したい。
L 手塚 勇(富津) L 川崎賢一(木更津)
L 上原好夫(柏) L 平野由夫(富津)
決議 原案通り承認する。
3. キャビネット会計の職務執行に伴う担保提出を免除する。
決議 原案通り担保提出の免除を承認する。



4. 予算案旅費、慶弔見舞金規定について。
決議 原案通り可決。
5. LCIFの強化運動について、前年度に引続きLCIF強化のため全員1ドル以上の献金を行いたい。
決議 原案通り可決。
6. 青少年育成資金について、前年度に引続き地区内 Mの1人1,000円を拠出し運営を計りたい。
決議 原案通り可決。
7. 世界ライオンズ奉仕デーについて。
10月8日の世界ライオンズ奉仕デーには地区内Mの全参加により、この日の意義を一層深めたい。
決議 趣旨諒承、その徹底について努力する。
8. 本年度アワード規定について、別紙参照。
決議 本年度は原案通り確定。
9. 333～C地区第29回年次大会開催について。
日時 習志野市 原案通り可決。
10. 年度クラブエクステンション計画について。
国際会長より各地区2クラブ以上の結成を本年12月末迄に実現要請があり、ご協力をお願いしたい。
決議 趣旨諒承 その実現に努力する。

◎ 追加議案

- 100%幹事賞の授与について。DDG会議より上程。
決議 授与することに決定。基準はガバナー一任。
2. クラブ運営と奉仕活動に対する評価を根本的に検討して行く委員会の設置について。
決議 趣旨諒承 その実現に努力する。



第1回 キャビネット会議開催

幹事報告

〈議事録より〉



- (1) 1982年2月28日 333-C地区 第3回キャビネット会議に於て次期ガバナー候補者として、習志野LC所属L藤田定男を推薦と決定される。
- (2) L藤田定男は直ちにキャビネット内局及び構成員の人選、次年度地区運営の基本構想に着手。この間市川キャビネットの暖い指導協力を頂き、新内局の直面した諸準備を円滑に進めることが出来たことに感謝の意を表します。
- (3) 3月24日ガバナーエレクトセミナー新三役出席。
- (4) 1982年5月9日第28回333-C地区年次大会において、L藤田定男はガバナーエレクトに決定。
- (5) 6月27日～29日 米国ジョージア州アトランタ市開催のDGEセミナーL藤田定男受講した。
- (6) 73日アトランタ国際大会閉会時よりL藤田定男は正式に333-C地区ガバナーに就任されました。
- (7) 333-C地区クラブ概況(1982年5月31日現)
 - 7～1～70クラブ3,302名(69クラブ3,216名5月31日現)
 - 7～2奉仕活動(千葉県 81年3月～82年2月)
 - 金銭奉仕 1,514件 174,594,432円
 - (会員3,200名として1名当り 54,560円)
 - 労力奉仕 1,063件 延88,721時間
- (8) 333-C地区キャビネット構成員研修会を5月29日習志野市にて開催しました。
- (9) 333-C地区クラブ三役研修会を、5月30日習志野市において開催しました。
- (10) 第21回東洋東南アジア(OSEAL)フォーラムは1982年11月17日より20日迄台北市開催予定
- (11) 82-83年度333複合地区ガバナー協議会
 - 議長L佐藤貞夫(B地区)副議長L藤田定男(C地区)
 - 構成員(幹事) L関 勝馬(B地区)
 - 〃 (会計) L杉本宗一郎(A地区)〈要約〉

会計報告

(1982.7.1.～83. 6.30)

収 支 予 算 書

I 一般会計の部

収 入 の 部

科 目	予算額	前年度実績
前年度繰越金	2,689,472	1,591,924
地 区 会 員	21,780,000	21,450,000
雑 収 入	900,000	856,442
合 計	25,369,472	23,898,366

支 出 の 部

科 目	予算額	前年度実績
ガバナー費	900,000	885,022
会 議 費	3,000,000	2,454,941
旅 費 交 通 費	1,500,000	1,324,380
贈 呈 費	900,000	1,327,680
研 修 費	1,260,000	1,260,000
広 報 費	3,700,000	2,891,360
地区委員会費	250,000	135,940
職 員 人 件 費	3,850,000	3,596,515
通 信 費	1,000,000	997,220
印 刷 費	2,500,000	2,440,490
事 務 所 費	1,500,000	1,409,280
光 熱 費	70,000	59,898
什 器 備 品 費	200,000	466,480
事 務 用 品 費	800,000	974,601



国際会長紹介



1982年7月3日米国
ジョージア州アトラン
タ市で開かれた、
第65回ライオンズク
ラブ国際大会に於て、
ライオンズクラブ国
際会長に就任した。

弁護士である。1972
年～74年国際理事 地区ガバナー 障害児の為の
テキサスライオンズリーグ会長 大会に於ける各種
委員長を務めた。

メンバーの最高アワード親善大使賞、国際会長賞12回
エクステンションアワード2回、等各賞授賞し

テキサス法曹財団終身会員 ベイラー大学法律部
終身顧問、テキサス州法曹協会元会長、バリンジャ
ー市商工会議所元会頭、銀行の理事、ボーイスカウ
ト協議会元役員、等々数多くの役職を務めていた。

ジェイ夫人との間に子供2人がいる。

Three in 83.

1983年に3項目 クラブ会長の為に
下記の事項の3項目達成したライオンズ、ライオネ
ス・レオクラブ会長には、国際会長から特別感謝状が
贈られる。

エベレットJ. (エブ) グラインドスタッフ国際会長

1. 糖尿病教育と予防に重点をしたACT実施。
2. 地域内で麻薬教育のACTを実施する。
3. 長距離、長時間、「徒歩競技」や「ジョキング」
などの資金獲得運動をして、「視力への道」
プログラムを実施する。
4. クラブで会員維持プログラムを実施する。
5. 新入会員に定期オリエンテーション、プログ
ラムを計画し実施する。

クラブ会員の為に、

国際会長は、ライオンズ、ライオネス、レオクラブ
の会員が本会計年度中に、83年に3項目を特別表彰
状の受賞に努めて欲しいと希望しておられる。

・下記事項の3項目を実施すると受賞できる。

1. クラブの事業に積極的に参加する。
2. 「赤印」を腕時計につける。
3. 新会員を少なくとも1人スポンサーする。
4. クラブ例会に皆出勤出席する（セミナー大会、
地区リジョン ゾーン会議など）

クラブ幹事が記録をとり、年度末に本部から送られ
る申請書に記入して表彰状を申請する。

我等の国際会長

ライオンズ国際協会の会長の役職は大変責任が
重大であります。会長は協会の行政主席として世界
最大の奉仕団体の長であるからです。

国際会長は、年次国際大会で代議員の資格者によ
って、秘密投票により選出。任期は1年で無給です。
再選はされません。会長の下に第1.2.3の副会長が
あり、普通第1副会長が次期会長となり、副会長は
順次昇格致します。この方法によりライオニズムの
主席となる者は、協会の各段階と広い経験を得るこ
とが保証されます。

国際会長は協会を代表し、しばしば公式訪問旅行を
致します。その旅行距離は1年間に200,000 マイル
を超え、六大陸にわたるライオンズ地区を公式訪問
し、会長は各国の元首を始め多くの有力者報道関係
者と面接しライオンズの奉仕の真理を説き、世界相
互の、理解の促進をはかります。

また一方で、国際本部と絶えず連絡をとり、協会の

運営を管理します。

国際会長は協会運営者のみならず、会員とも接触
を保ち、毎月ライオン誌各国語版にライオニズムの
各段階に論説を寄稿します。又各地区ガバナーやク
ラブ会長に周期的に配布される情報にも、論説が掲
載され、参考資料及び激励の1助となっています。

国際会長は年次大会を期に終了するのですが、こ
の際その任期中に完遂された、事業活動、協会の発
展状況などにつき、広範囲にわたる報告をします。

国際会長の仕事は容易なものではありません。ま
ずライオニズムの運営につき完全な知識と行政能力
と、又地球を数回廻るような切りつめた旅程に対す
るスタミナをもちあわせていなければなりません。

国際協会の運営は大きな仕事であり、大きな仕事
には、大人物を必要とすることは当然であります。

(情報委員会)



国際会則 及び 付則改正

(1982年国際大会 ジョーア州アトランタ)

議案 1. 法人定款に表記してある本協会の目的を、国際会則に列挙してあるものと同じにする案。

(説明) これによって本協会の法人団体としての定款にある協会目的が、国際会則及び付則上のと合致することになる。そこでライオンズクラブ国際協会の法人定款第2条の最初の文章を削除し、次の説明に代える。

「本協会の目的は、

- (A) 世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる。
- (B) よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- (C) 地域社会の生活文化、福祉および公德心の向上に積極的関心を示す。
- (D) 友情、親善、相互理解のきずなによって、クラブ間の融和を図る。
- (E) 一般に関心あるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし政党宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- (F) 奉仕の心を持つ人びとが、個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また商業・工業・専門職業・公共事業および個人事業の能率化をはかり、道德的水準をさらに高める。

上記3項目にわたる改正案は総て可決されましたので、1982年度版会則及び付則に含まれ、更に協会の法人定款の一部改正案が提出され、これも可決されました。

議案 1. 終身会員の転籍を認める案

会則第3条9(e)項の「終身会員が他のクラブへ……国際会費は請求されない」とある最後の文章を削除し、次の文章に代える。

「終身会員が他のクラブから招請を受け、転籍した場合、自動的に転籍クラブの終身会員となる」

議案 2. 協会資金の振替送金に関する制約に対処するため、国際理事会により変通性を与える案

会則第5条4(D)項に(4)として、次の文章を追加する。

「本会則及び付則の規定のいかに拘らず1982年1月以降、継続12カ月間 または領域において、理事会の選定する通貨への協会資金振替送金の自由が拘束されている場合、国際理事会全メンバーの2/3による賛成投票によってのみ、その制限が続く限り、又は理事会によって復帰が決議される迄、その国または領域のライオンズクラブ会員、クラブ及び地区(単一、準及び複合)に対し、本会則及び付則が明示または示唆する権利と特典の行使を停止する権限を有する」

議案 3. 大会議事録を各クラブに送付する件につき、地区(単一、準及び複合)の経済的負担を軽くする案。会則第7条9項は最初の文章を削除し、次の文章に代える。

「各単一、準および複合地区大会閉会後 60日以内に大会幹事は大会議事録を作成し、国際本部及び地区ガバナーあて発送しなければならない。クラブに対しては、文章にて要請のあった場合に発送する。

法 人 定 款

(1969年に国際会則が書き改められた際、本定款の改正がなされなかったため、今回、これを改正し国際会則との一貫性を図ろうとするものである)

DDG シ リ ー ズ

豊かな福祉社会を、愛の手で

1R DDG L 上原 好夫

「ライオニズムの基本理念を逸脱しない限り、皆さんの責任で、自由奔放に指導力を発揮して戴きたい。もし不幸にして問題がおきた場合、私が総ての責任をとりましょう」。本年6月新CAB構成員研修会で藤田定男ガバナーが我々に披瀝されたガバナーポリシーの一片であるが、組織が相互の信頼と理解に立脚してこそ、その機能が発揮できることをまざまざと教えられた一瞬であり、思わず体内に熱いものが流れるのを感じた。真に勇気ある「ことば」と今でも強烈に心に残っている。



表紙によせて

ヨーロッパ旅行のつれづれに向うのライオンズを覗いて来る予定でしたが、ついライオンズマークにもお目にかからなかったのがドイツの田舎町の風景を画いてみました。こんな静かな町にはむしろライオンズより浮世離れた冥想の世界が広がっているように思いました。(L森記)

3R DDG L 前田慶四郎

私は、千葉県人がどんなことに関心を持っているか、千葉日報に毎日掲載された記事から拾ってみることにした。目下のところ、5月6月の二ヶ月の統計だけであるが、ライオン誌8月号「カセット(1)」の中の「どんな奉仕活動に力を入れるべきか」の答と、ほとんど内容が一致しているのに、成程と感心させられ、かつ我が意を得た思いである。(P 84)

アクティビティは如何にあるべきか。一ライオンズ必携によれば、原則として、その地域社会で真に要求されていることをその眼で、耳で、足で捜し出し、その奉仕の方法を研究することが必要である。(P 29)そして、クラブが自主的に取り上げ、クラブ単位で行うことが本義であると解説している。(同頁)。

私は、この一年の間、この作業を進め、統計が完成した暁に、私なりの意見をまとめてみたいと考えている。アクティビティの要求される項目は何か、それをどんな方法で実行するか—それは私が入会以来ずっと今日まで探求し続けて来たテーマでもあったのである。

ところで、私はDDGのポストをお引受けした機会に、全く初めてのことをやりたいと考えている。その一つは、資金の積立である。今度の西日本の水害を見聞するにつけても、その余りにも被害の大きいことと同時に、その余りにも救済活動の遅滞たること、そして不十分なことが考えさせられる。貧者の一灯ではないが、この際、救援資金が手許にあればと、つくづく我が身の非力が情ない思いである。

そこで、私は毎日100円貯金を始めることにした。一年経つと36,000円、二年で72,000円となる。1人ではほんの僅かであるが、共鳴者ができてきて、100人となれば、一年で360万円、二年で720万円になる。銀行に預金すれば、利息がつくから税金を引かれても、まだ少し増える計算である。

私は災害だけを対象に話を進めたが、これは何もこれに限らなくてもいい。実際のところ、私自身、住所地の、N村には、子供や孫が世話になっているので、青少年育成のための事業に何かをと考慮中なのである。微力の我が身を奮い立たせる原動力こそ「ライオニズム」であると、声を大にして叫びたい。



輝く国際会長賞授賞者 1981～82



地区ガバナーエクステン賞
前地区ガバナー L 吉原 稔人

国際会長感謝証
L 山田源一(市川) L 木村博美(館山)

「南北問題」に象徴される富めるものと貧しき者の格差は、今世紀末に63億、2030年に100億と想定される世界人口の低開発地域における急増によってより深刻な問題を提起することであろう。現在もサハラ以南のアフリカ、ヒマラヤ以南のアジア地域に年収70ドル以下の極貧階層は、世界人口の1/4に達しようとしている。蛋白質不足で異様に腹のふくれた子供は、西アフリカ語で「1・2」と意味する、「クワシオルコル」と呼ばれ、下の子供が生れたために栄養失調に陥る悲しい連鎖を示している。

全地球上の人道主義的奉仕を基調とする、LCIFへの献金は、ライオンズ活動の大きな柱の一つである。前年度333-C地区として458万余円、Rとして234万円余の新記録樹立に対し、全地区会員の皆様の協力を代表し山田、木村両LにLCIFより



私の会長任期のテーマと目的そしてライオンズクラブ国際協会の理想を例証した。人類福祉事業に貢献した、木村博美殿に感謝状を贈ります。会長として私個人の深い感謝の念と協会の心からの感謝と賞讃をこめて。
(以上山田源一同文)

村上国際会長より感謝証(Certificate of Appreciation)が授与された。尚吉原前ガバナーには、地区初年度内政軌道の基盤樹立に献身的努力を尽しながらも、新結成2クラブ達成は顕著でありその貢献にガバナーエクステン賞証書が贈られました。

委員長シリーズ

東洋東南アジアフォーラムに参加を

国際協調LCIF委員長 L 池上 玄常

国際協調の基盤は個々の人間が各々の地域社会の一員であると共に、その国の国民でもある。我々ライオンズクラブの会員はそれだけではあってはならない。国際社会のメンバーでもなければならぬ。「世界の人びととの間に相互理解の精神をつちかい発展させる」というライオンズムの第一目的は、現代社会の根本的な実態に立脚したものであると思う。国際協調を目的とする、ライオンズクラブ国際協会の各種事業の根底には人種や文化的背景などには大きな相違はあっても人間はみな人類という同じカテゴリーに属するも

のであるという信念が確固として存在する。国際協調とは、人類共通の福祉のために働き、それを通して個人の存在を意義づけ、全人類に対する同胞愛を育成していくことである。

本年も第21回ライオンズ東洋東南アジアフォーラムが台北に於て11月17日より20日迄開催されるが、国際協調の基盤に従い諸外国のLとの交流をし、人類がもつ偉大な多様性について理解を深め、或いは情報の交換をし見識を高める良い機会ですから是非一人でも多くの参加をお願いしたい。

委員長シリーズ

— 夢ではない大型共同ACTIVITY —

「千葉県ライオンズ号」のことについて

ACT・福祉・環境保全委員長 L 渡辺 瑞男

ライオンズ奉仕デー、ガバナーの特別提出議案として第一回キャビネット会議で採択された「全てのメンバーの皆さん、いい汗かきましょう」と声を大にしてお願いする次第。ポスターも9月半ばにはお届けいたします。7月現在、労力ACT-101件、10月には更に大きな数字になることを期待いたします。

12,469,730円、この数字はC地区7月末の金銭ACTの総額です。前年度の金銭ACTの総額は約九千万円、今年度は更に延びるものと確信していますが、ここでは前年度の1/3の数字について思料していただきたい。私は第一回CAB会議に、藤田ガバナーの意を体し、4項目に亘るACT指針を提唱しました。この提案は、C地区ライオンズ憲章に違背する感もあり、「何々を行う」といった具体案は避け、L各位のご意見をお待していたところ、数名のLから大変参考になる共同ACTのご意見をいただき、「わが意を得たり大型共同ACTも夢ではないぞ」とこれを実現せんがためあれこれ思案していたところ、2R・DDG L小泉昭と面談する機会に恵まれ、席上理想的大型共同ACT計画の構想を伺うことが

できた。要約すると「全国にタイハウ号が数十台活躍しているが、千葉県には一台も配車されていない。現実採血車は不足している今日、千葉県ライオンズ号と云う採血車を県内隈なく走らせてみたい」という、しかも、この計画は2R内各クラブの委員長会議で発案され各クラブから盛上った計画とのことであった。私はこの話をうかがい、これぞ天下に発表してもLCの名を汚すことなく、大型で、社会のニーズに応えられる真のACTであると意気軒昂したのであります。

この高邁なACT計画を地区全体に広めるため、全てのDDG・ZC・全ての会員のご理解と協力を得るためDDGのメッセンジャーとして働くことこそが委員長としての職務であると自認しております。

大型採血車が3千万円とのこと、1/3の思料のしどころなのです。一委員長としては役責逸脱の誇り免かれないと思いますがこの高邁な計画を線香花火にしたい気持ちから敢えて言及した次第、ご容赦願いたいと存じます。夢ではない大型共同ACT実現のために!!—現実と理想を結ぶ者われらLIONS—

地区特別運営委員長



L 北村 泰彦

役職名 地区運営特別委員長

L 北村 泰彦

(所属C) 千葉

L 略歴 '63 CM

'64 ~ '65 クラブ幹事

'65 ~ '66 地区PR委員

'67 ~ '68 地区副幹事

'72 ~ '73 地区幹事

'76 ~ '77 DDG

'81 ~ '82 地区リーダーシップ委員長

'82 ~ '83 地区副幹事

ガバナーもクラブ会長も任期は1年

—思いきって特色を出すべきもの

片や不変のスローガン、モットー、

誓い、そして運営上の約束事など歴

代を貫く継承性もある。この両極を

みつめて、C地区第2幕の舞台廻し

を手伝う黒子の役。—これが新種

の当委員長職名。台本は“地区憲章”

(前回紹介洩れ、深くお詫び致します)

**夏 秋 冬 春**

単県地区の特性を活かして

共同大型ACTへの考察**2R DDG L小泉 昭**

二年度を迎えるC地区の指標を検討する第1回CAB会議に於て、藤田ガバナーの意を体して、渡辺Act関係委員長は、本年度Actに対する指針項目として、次の様な問題提起をされている。

1. コマ切れActの再評価と社会のニーズに応える知的Act。
2. 2クラブ以上による共同Act。
3. ゾーン単位による共同Act。
4. 真の勇氣と燃える情熱をもって愛の手をさしのべるAct。

之より先、DDG指名を受けるに際して、役責上の努力目標の一つとして、合同Actについて構想していた私は、この委員長提案に接して、我が意を得た感を深めながらも、更に一步進めた、共同大型Act提唱について、考えを新たにしたのである。

省みて、昨今のライオンズクラブに於けるアクティビティの実態について、一概に批評する事には憚りも多いが、各クラブに於ける奉仕活動への情熱は聊かの後退もない筈としながらも、大方の見方として“アクティビティに対する模索”という点についてはそのマンネリ化と共に、多くの問題点を抱えていると言うのが実情ではあるまいか。行政に於けるバマキ福祉と対比的に、コマ切れActと呼ばれる状態は否み様もなく、更には、交際費的寄付行為を以てまで、当然の様にアクティビティとして規程している慣行さえ、多くの事例として見聞されるところも強ち、偏見とばかりは言えなさそうである。この辺のところが、毎年各クラブ執行部の等しく悩みの種としているところではないのだろうか。

ここでお許しを得て、吉原前ガバナーが、地区ニュースNo.5に論説された、＜新しい奉仕活動の模索＞と題しての提言中の一節を再び引用させて頂き、もう一度考えて見たいと思うのである。

『このインフレの世の中で、しかも、複雑・巨大化している社会機構のなかで、真に社会の谷間が求めるものに應えるためには、かなりのまとまった資金が必要である。真にやりたいもの、取り組みたい対象・目標は一ライオンズクラブの力を越えている。これからの奉仕活動はどうあるべきか。(中略)今私たちは金銭Actの望ましい未来像について、もっと議論しなければならないと思う。』

ただ、ここに於て、気になることは、従来から解っていて踏み切れない大きな原因はActに関しての国際協会指針の解釈が、問題となる点であろう。その項目そのままを遵守する限りに於ては、巨大プ

ロジェクトに依るAct協議の成立は困難な許りでなく、各年度の指導層に於て、之の提案に大きな躊躇が生ずる事は当然であり、共同大型Act議論以前の問題点として、立ちはだかっている事である。然し、多様化する近代社会に対応すべく、ここ数年来、ライオンズ上部指導層に於て、大型共同Act推奨の言辞が目立ち始めていることも、又事実であろうかと考えられるのである。

この様な視点から、私は敢えて共同Act問題の提唱に当り、2R内各ZC各位と協議、ご理解とご賛同を得た後、ゾーンミーティング等の機会に於て各クラブ代表者とご相談申し上げたところ、これらの疑問点を解消すべき、一手段について、貴重な判断材料の提供を得たのである。結果、当リジョンに於ては、各クラブAct担当委員長全員のご参集を煩わし、白熱討議の末、各クラブの年間金銭Act計画のうち、大きな支障を生じない範囲の金銭醸出を以て、共同Actに参加して頂くことを、クラブの自主的措置として、逆提案して頂くという展望が、全員賛成の形で開けたのである。

一DDGとして、甚だ僭越はお許しを乞い。私はこの画期的ともいう可き結集を足場にさせて頂き、多くの機会を通じて、その輪の拡大を試みたいと考えている訳である。極めて困難な作業でもあろうが、各クラブの自主性を損なわず、而も各クラブ発案の型式の共同Act構想が実現出来れば、国際協会指針に違背のない、共同プロジェクトに依る、集中Actの実現が、可能となる筈と確信するのは、短絡的の誇りを受けるであろうか。

思うに、役員一年交替制下のライオンズ機構内に於て、之等を、申し送りの数年懸りの研究事項とすれば、寧ろ、その実現は悲観的と捉え、一部のながらも、土台を提供し、あくまで謙虚な姿勢で、多くの施主のご参加を仰ぎたいと考えるもので、この際各指導層の叡智と、指導力の発揮を懇請して止まない所以のものである。

単県独立となったC地区の第一年度は、当然ながら、組織作りの年であった。幸にして、各層の努力、協力が結実して、従前に劣らない準地区として、固まりを見つつあることは、慶賀に堪えない。

二年度に入った今こそ、単県組織の特性を大いに活かし、本来の姿であるべき、ウィサーブについて、考えを新たに結集すべき年と思うのである。

'82 YEサマーキャンプを終えて

青少年対策委員長 L 木村 宏

森と湖に囲まれた景勝の地、三島湖畔で、8月28日より2泊3日のサマーキャンプを行なった。

開会式当日は藤田ガバナーも列席され、来日学生8名と、各ホスト家庭の青少年、YEOB約30名も参加し、賑やかな楽しい幕開となった。

次第の進行もYEOBの学生たちによって、日本語と英語を交互に交えながら、笑いの起る珍事や、思わぬとまどいに立ち往生したり、これも国際的な交流のなせる迷場面であった。藤田ガバナーより来日学生に対し、日本の有りのままの現状を観察し、日本人の生活、風俗習慣を理解し、伝統や文化についても認識し将来に渡って、相互理解によって世界平和に尽してもらいたいと云う挨拶があり、次いで来日学生の自己紹介や、バナー、バッチの交換等があり時間の経過を忘れる思いであった。

本年度は333-C地区にカナダ2名、フランス1名、アメリカ5名、この中で黒人の学生2名と多彩な顔触れで、年々来日する国も増加している事は喜ばしいことであります。以前は主として、アメリカ一辺倒であったが、最近ニュージーランドやオーストラリアなどオセアニア地区や、ヨーロッパ等の国からも来日されることは、現在の貿易摩擦等諸々のトラブルを少しでも多くの外人が、日本を理解することによって解消するならばライオンズのYE活動は甚だ意義の深いプログラムであろうと思います。

そして更にアジアの青少年との交換が出来る様YEの範囲を広げて行きたいものであります。2泊3日のサマーキャンプは連日天候にも恵まれ、予定のプログラムを消化することが出来ました。その中で世界一を誇る新日鉄津製作所で、オートメーションによる熟延の行程の見学、鹿野山仏母子寺での座



禅の体験や、お茶の研修は異国の青少年にどのような感を与えたのであろうか、短い滞日期間ではあるが、彼等は帰国し日時が経過するとともに、日本での生活体験は必ず彼等の心に多くの事を再現させ、日本や日本人に対する認識を新にしてくれるであろうと確信するものであります。最後にサマーキャンプに参加してくれた方々、ホスト家庭の皆さん、そしてホストライオンズクラブのメンバ各位に対し心よりそのご労苦、ご協力を心より感謝申し上げますと同時に誌上を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

ライオンズクラブ主催のYEについて

千葉テレビ(CTC)放映のご案内

日本の家庭に滞在して生活習慣や文化を学ぶ外国人学生の様子やその受け入れ対策などを紹介する番組です。

日 時	10月27日(水)	午後 9:30 ~ 9:50
	10月31日(日)	午前 11:00 ~ 11:20
主な内容	(1)	サマーキャンプの様子
	(2)	ホストファミリーでの生活
	(3)	外国人学生の受入れ対策
	(4)	空港での見送り



地域の認識を深めるACT

柏LC青少年交換風景



下山雅弘君（身障者）ノルウェーへ出発



納涼例会で“またあう日まで”



お茶会風景



台湾淡江大学女子学生

柏LC青少年交換事業は1973年2月に柏市と米国トーランス市との姉妹都市の結びをもって、市民とLCが一体となって、青少年交換の巾広い国際交流を続けている。特に本年は全国でも初めての身体障害者をノルウェーに派遣するなど、その国際色豊かな活動は注目されている。（PR情報委員伊藤記）

愛の献血200万人突破

さる39年政令改正とともに、愛の献血が県内でスタートして以来18年目で200万人を突破した。

7月28日国鉄千葉駅前で、千葉LC・LSC合同献血奉仕事業中にこの200万人目が出たのであった。かけつけた松井 旭千葉市長より楯と記念品が贈られ、千葉京葉ライオンズクラブからも200万人目を射止めた 林 純子さんに記念品を贈呈した。

千葉京葉ライオンズクラブの普段からの地道な継続ACTの活動が、この結果をもたらしたと思う。今後の活躍を期待したいものです。



200万人目の献血者（千葉京葉LC）

アクティビズ



白子LC. 児童生徒の水泳大会



木更津中央LC. 剣道大会



大栄LC. 献血



市原南LC. 物故Lの墓参

会員及びACTの動勢

(1) 会員数について

全複合地区 504名増

330 複合地区	357 名減	334 複合地区	24 名増
331 "	22 名減	335	126 名減
332 "	121 名減	336	266 名増
333 "	223 名増	337	220 名減

上記の通り当複合地区の223名増は、よい成績といえますが、当333C地区においては、23名増です。(新クラブ2の新結成を含んで)

昨年度毎月別に会員数の増減、ACTの件数、金額等に表示する、クラブ活動の概況を他地区との比較一覧でお知らせしました。本表はその下期6ヶ月分の集計です。会員数は全国で504名0.3%の増です。

(2) ACTについて

1クラブ当り	件数	金 銭	労 力
全国平均	9.36	1,250,516	4.96
333 複合	8.45	1,131,731	5.96
333 - C	8.64	1,243,789	6.98
概 要	やや少ない	良 好	優れている

地区運営特別委員長 L北村泰彦



アクティビズ



君津LC 7月27日、ライオンズの森の草刈りをネスと共同で行う。どちらに軍配があがったか？



千葉エコーLC 8月22日、千葉市の親子三代夏祭りに参加。地域社会のコミュニケーションとLCのPRの趣旨で、充分印象に残ったと思う。

ライオンズクラブ国際協会333-C地区

表彰規定

1. 地区大会アワード

- (1) 優秀クラブ賞（5年以上のクラブ）
- (2) 若獅子賞（5年未満のクラブ）

評価基準表

	項目	単位	得点
1	ガバナー諮問委員会に会長と幹事が出席した場合	委員会毎	+30
2	ガバナー諮問委員会に会長又は幹事のみが出席した場合	"	+15
3	マンスリーレポートが毎月5日迄にキャビネット事務局に到着した場合	毎月	+50
4	国際会費の半期分が8月末日及び2月末日迄に納入されなかった場合	半期毎	-50
5	地区会費の各半期分が8月末日及び2月末日迄に納入されなかった場合	"	-50
6	物品購入代金の支払いが60日以上遅れた場合	その都度	-50
7	新入会員	1人当たり	+30
8	復帰会員	"	+30
9	退会会員（移籍及び死亡は退会扱いとしない）	"	-30
10	退会会員0クラブ		+70
11	出席率（メイクアップ含む）97%以上	毎月	+20
12	アクティビティ及びリーダーシップ育成・PR・情報活動評価	最高	+500

— 表彰の種類とその基準 —

1982年3月1日～83年2月末

左記の通り

100% 会長賞について

1982～83年度 100%会長賞の規定については、「クラブ三役研修会資料」の32頁に記載通りですが、正しくは、その後配布された「1982～83年度幹事会計必携」の57, 58頁に記載されている方が正しい。

一部変更がありますので、ご注意願います。

LEOネス青少年育成



袖ヶ浦LC, 7月11日 ライオンズの森, ネスと
合同草刈作業, 「父ちゃん頑張って」



下総中山LC 7月25日 わんぱく相撲大会の風景
こちらは頑張れと言ってよいのか?



君津LCより, レオ夏期風景より, 緑陰が涼しげ
だ, このリーダー将来るるC地区ガバナーだ



柏LC, 7月17日 柏養護学校夏まつりに参加,
夢がある子供と神こし, 胸が熱くなる素晴らしい絵だ



館山LC, 7月25日 姉妹クラブ新潟小出町の子
供75名 2泊3日の受入れ, 外国だけでないぞこの
微笑ましき姿, 足もとを見詰めたものだ



君津LCより, サマーキャンプ風景, 子供より大
人の方がもの欲しげ, 気取ることはない自然の姿だ



崇高な A C T



故 L 風間俊雄 大正 2 年 7 月 12 日生
千葉県館山市長須賀 306
日本獣医大学卒 飲料食品製造業
L 歴 館山中央ライオンズクラブ所属
1968 年 9 月 結成初代会長
1972 年～ 73 年 Z C
1976 月～ 77 年 DDG

視力障害者に献眼

6 R 1 Z 館山中央 L C L 風間俊雄が 7 月 29 日死去されました。生前より献眼に力を入れて自からアイバンク慶大眼球銀行に献眼登録をされており、死去后直ちに館山医療センターにて眼球摘出がなされ、献眼なされました。

6 R 1 Z では 1978 年館山 L C 故 L 川合繁治について 2 人目の献眼者です。故 L 風間俊雄は館山中央 L C 初代会長となり、地域住民にも早くから献眼運動を呼びかけており、クラブでは Z C, DDG と活躍し、社会奉仕活動にも熱意をもっておられました。

酒は大いに飲み、豪快に見え、反面心の優しさを内に秘めていられた方でした。

館山中央 L C では、故 L 風間俊雄のこの崇高なライオンイズムの精神を継承して多くの方々に献眼を呼びかけ、視力の不自由な人達に光りを運動を進めて行くつもりです。(6 RPR 情報委員 L 渡辺忠治記)

遺稿 酒 と 私

私は酒にだらしないことには、自分ながら呆れ返っている。酒席では飲むピッチが早く、肴に食指は動かず、速やかに酩酊と相なり、毒舌を吐くのは、既に各ライオンの周知の通りである。いい歳をして恥しい限りである。適当に食事の後で、酔いが遅いと、風間らしくないと言われてはまた飲む深酒の翌朝は、アルコールがきれ、昨夜の興奮が鎮静し、気分が滅入って、紳士が何を言ったのか、さっぱりわからず、不安におののく有様に穴があったら直ぐにでも入ってしまいたい心境である。例会は、昔、昼食の時に行っていたが、今は夜に替ったせいか、すぐ晩酌とぶつかる。酒飲みのよさでもあり、心の弱さでもある自分の意志に、いつも呆れる程である。今夜はどうしても出席しよう。そしてチョッと飲んで、もうすこした飲んでと、何度か繰返して「だめになる」のである。或る例会の晩、来客があつて晩酌の機会がづれ込んで、例会の時間が近づくと、それチャンスだ、今だと出席してみると、メンバーが懐

しく、君が代の合唱は実にさわやかに聞えた。あゝ出席すべきだなあーと思いながら帰宅する。それからの酒の味も格別なものである。私は獣医で、牛乳の会社に務めていた頃、仕事とは言えば、酪農家と交際する機会から、牛の疾病の治療や牛乳の品質向上、増産と縄張りの維持、他社の地盤への食込みで多忙であった。農家との関わりは、何にかと酒で始まり、酒で終ると言った具合で、彼等の酒の強さには敬服するところがある。酒豪で薬剤師の立場であった彼は、下戸の私を薬持参で連れ歩き、飲めるように仕立てくれた結果で、ホステスと同じ職業上の酒飲みとなってしまった。いまさら弁解の余地はないが、酒味にさからう者がないように、その魅力にとりつかれた私、昔と同様に今も変わらぬ酒に遊ぶ楽しさは、この世の花と同じ位に思えてならないから、ことさらやめられないところが不思議である。

元 DDG 館山中央 L C L 風間俊雄

S. 57. 5. 発行 ゾーン会報～転載

1R テールツイスター合同研修会開かる

7月3日、於・松戸市ニューオータニ

1R各C・TT2名、会長幹事担当委員長の出席

1. TTの機能発揮に連携の配慮を求める。
2. 明るい運営と円滑なファイン・ドネーションの集め方についてをテーマとして。

DDG・L上原好夫より、TTの役割とその活躍を期待する。特にTTが会員への細かい気配りや、暖かな心づかいをもって例会運営に円滑な事業資金調達の一助となるよう、希望が述べられる。

研修タイム 座長DDG

15クラブから今期の努力目標計画発表について、

質疑応答「有意義な研修会であった」とZC・L山下修の言葉で終る。

次の懇親会は庄巻であった。下総中山LC・L高橋武男、柏グリーンLC・L岡田庄三郎、L細江広美、L寺島稔による模範TTが披露され爆笑のうちに、39,000円が集り、参加15クラブに2,600円が分配される、市川LC・L鹿野甚衛、L村上春男の両Lによる珍問答、柏LCのL伊藤恭一の考察のTTソング



を全員手拍子と共に合唱し最大の盛上げとなり、最後に市川東LC・L多田武次71才でお元気豊饒としてソングリーダーとなり「また逢う日まで」和やかに愉しく歌い終り。今期テールツイスターの職責に自覚を新にして散会となる。

PR情報委員 L伊藤記

2R 合同ACT担当委員長会議開かる

本邦初か、画期的な討議

昭和57年8月27日 PM 6:30

於 ホテル三田浜楽園 会議室

出席者

2R DDG L小泉 昭, 2R1Z ZC L林 静誠, 2Z ZC L桜井留治, 2R・PR情報委員 L木下 務

各クラブ 船橋(1) 習志野(2) 船橋中央(2) 八千代(3) 船橋東(1) 鎌ヶ谷(1) 船橋京葉(2) 沼南(1)

陪席 地区PR情報委員長 L中村清成

挨拶 DDG L小泉 昭

今年度は同じリジョン内より、キャビネット担当という意識深い年でもあり、従来のACTの見なおしをして、意義にそった大きな目的を試みたいと考えております。それは大変むずかしいことではあるが、合同ACTの実現ということであり、この画期的な課題のご討議を本日の皆様にご願いを致します。

主旨説明は次の通り。

「本年度各クラブ年間150万円のACTをすることで(各チャリティーの収益金を含む)

この150万円のうち、50万円は各クラブのACT

とする。(クラブに依て毎年継続実行しているACTもあるので)

残100万円をリジョンでまとめ、献血車(例えばライオンズ号)として寄贈。

金額不足の場合は、近隣リジョンに応援して頂き、ACTの輪の拡大をお願いしたい。

以上具体的な説明のあと

ZC L桜井留治より

「当クラブのL畔田が日赤千葉支店業務課よりのお話として…総額 $\frac{1}{2}$ は日赤本社より出資し、 $\frac{1}{2}$ を集めて頂ければ Lマークが付けられる」

献血車 5人用 総額 約3,500万円

“ 4人用 “ 約2,800万円

上記報告がなされる。

以上の主旨説明報告を経て、熱心な討議後各クラブ委員長さんには、この画期的な主旨に全員賛成となりました。

PR情報委員 L木下 務記



PRに新たな標石、ゾーン会報発行さる



6 R 1 Z 会報No. 1
若潮は（昭和57年5月10日発行）当時のZ C L 増田五十吉のもとに構成された、館山、館山中央、館山南、館山北、鋸南、各L Cと館山ライオネスクラブ、以上6クラブの各編集者によって発行された。

— 1冊の会報がクラブ間の情報交換に役立つとしたら、どんなに素晴らしいことか。以前は自分の所属するクラブだけを考へて奉仕活動でもその運営に専心して来たが、この会報がもたらす情報によって考へても新に、増幅する思考と大きな組織下の全体行動奉仕の輪が広げられよう—

L 増田五十吉 所感抜粋

化学者がひとつの研究課題を追求する過程で、全く別種な素晴らしい発見を偶然にする事があるという。

もし私見を許されるならば、この画期的な会報は現在とみに昂りつゝある合同ACTのPR版と思う。

既にこの会報には時代の先駆けとして合同ACTの実践が成されていると、驚きを感じながら改めて野にある英知に深い感銘と活力に敬意を抱きます。

（ライオニズムの活動はPRによって支えられていると言っても過言ではない。地域社会の人々の理解と認識なくしては、奉仕活動の成果はおぼつかない）

このゾーン会報が、会員相互の情報交換性のものとせず、地域に向けたライオンのPR誌専用としたら上記に対する効果は偉大なものとなると思う。

現在一番遅れているのは、地域社会に向けたPRであり、その手段方法について心あるL達の模索であつたと思う。（1）C会報はM相互向け。（その1回分をゾーン会報充当）（2）Z会報は地域社会専用。

（3）地区ニュース総合的立場。その上にL誌を加味将来の理想的形態。2の一石の波紋を深く見詰め継承への努力を続けたら、日本L C全体の地域社会での認識は量り知れない貢献の可能性を秘めていると思考するものです。着眼と決断に賞讃をこめて。

（中村記）

ライオン誌は あなたの

ライオニズムの眼と糧となる

ライオン誌

発行部数	ライオン誌	1,744,000 部
"	" 年鑑	9,000 部
	英文 別冊	10,000 部

印刷代一億参千万円。1部75円。諸計費共1部156円
購読料は国際会費に含む2.25ドルと複合地区による負担金600円です。1部当り平均95円となる。製作実費との差65円は広告その他の収入による（獅子座）

週刊誌等は現在200円以上の価格に比し我々はいかに低廉でライオニズムの真髓を盛ったライオン誌を購読しているか。広い販路の必要は当然、新にクラブ用資料と1冊、ライオネスの方にも購読をライオン誌では望んでおります。是非購読を進めて下さい。

本年度も当地区より元ガバナーL 杉浦 明がライオン誌日本語版編集長として活躍しておられます。

「この稿廻すとおどされた。」「なんで地区ニュースを読めと入れないんだ。」いやそれは全くその通り、

「皆さん、地区ニュースを読んで下さい、読んで下さいますことを、お願い致します。」何んだこれでは、まるで選挙の時の先生方と同じだ。

地区ニュースからお願い

1. 投稿 題自由400字、原稿紙1000字迄 締切なし 寄稿依頼については必ず期日迄にお願いします。
2. 各クラブ幹事殿にはマンスリー複写を各リジョンPR情報委員に必ず1枚送付して下さい。

各地区内公正に地区ニュースへ紹介のため、添付写真も同じくお願いします。

3. 地区ニュース会員への伝達について

地区ニュースは奇数月発行です。発行がどうしても下旬となり、お手許に届くのは早くても翌月の第1例会かと思ひます。従つて8月のような特別な月は大変遅くなつてゐるようです。

地区ニュースが、遅苦ニュースにならぬよう出来るだけ、各クラブ自主的方法をもって、配布についてご配慮をお願い致します。

東京霞ヶ関LC 20周年記念ACT

「みんな生きている」心身障害児と共に。
特別番組として放映。テレビ東京（12チャンネル）
日時、57年10月11日（月）午前10時30分～11時。
理解と関心を訴える異色番組是非ご覧下さい。



しげんめいげん

友 情

L 杉浦 明

「友情」といえば、どうしても忘れることの出来ない思い出がある。

千葉県ライオンズが地区分割によって単県独立をした時のことである。

333-C地区の初代ガバナーには、L式場倭文夫にお願いしようというのが当時の千葉県ライオンズの悲願であった。「お願いしよう」どころか「L式場をおいて他に初代ガバナーは無い」といった方が真実に近い。

そこで、新地区準備委員長をしていた私は、そうした関係者の方々の願望をになって、榎顧問、斉藤顧問と同道、L式場をご自宅に訪問申上げることになった。8月30日のことであった。しかしL式場はお年をおめしになっておられること、若い新しいリーダーがたくさんおられること、などをあげられ、頑として承諾下さろうとなされなかった。つづいて今度は、名誉顧問の方々に当時のデピュティガバナーの方々にもご足労を煩したのであったが、同様の主張でお受けいただけなかったのである。

新地区準備委員会は、更に協議をくりかえしたが、何としてでもL式場に初代ガバナーをお願いしたい、という悲願を変えることがなかった。それどころか、もう一度、名誉顧問、全デピュティガバナーで、重ねて懇請申上げようということに一決、9月28日に打ちそろって式場邸を訪問した。

あらかじめ、ホストの市川LCを通じて訪問の連絡はお願い申しあげてあったので、L式場はご在宅の上、一行を迎え入れて下さった。

私は一同を代表して、重ねて初代ガバナーにご就

任方を懇請申しあげた。

L式場は、やや沈痛なおももちではあったが、はっきりとしたおこえで、次のようにおっしゃられた。

『私が、これ以上皆さんの要請を固辞すれば、ライオンズで最も大切な、友情を損うことにもなりかねません。ですから、皆さんのおことばに従って、ご要請をお受けいたします。』

何とすばらしいおことばでしょうか。私は思わず平伏して、『ありがとうございます』とお礼を申しあげた。張りつめていた空気が、一気になごやいだ感じであった。並みいる一同も、ホッと安堵の胸をなぜおろすとともに、限りない喜びを噛みしめておられたことと思った。

しかしながら、結果においてL式場は、初代ガバナーにご就任直後に、志なかばにしてご逝去なされてしまわれたことは、何とも哀惜の念に堪えず、また残念至極の情を禁じ得ない。

あるいはまた、ご無理をお願い申しあげたことがL式場ガバナーの死期を早める結果にもなったのではないかと、心中申しわけなく思っているのであるが、L式場の、あの時のお言葉『これ以上固辞すれば、ライオンズの友情を損う……』は、私にとって生涯忘れることのできないご教訓であると同時に、われわれライオンズにとっても、これほどの名言至言はないであろうと痛切に思った。

わたくしは、L式場ガバナーの＜献眼＞という人道的無償の愛の実践と共に、このおことばを生涯忘れることがないであろう。

(会報きみつより転載)

お 知 ら せ

10月 3日	四街道LC 15周年	四街道市文化センター	11月 2日	松戸中央LC 5周年
10月 11日	鎌ヶ谷LC 10周年	鎌ヶ谷市体育館	11月 7日	市川東LC 15周年
10月 23日	船橋ポートLC結成式	ブライダルシャトー	11月 14日	茂原長生LC 15周年
10月 24日	習志野LC 15周年	サンペデック	12月 4日	新クラブ結成式 S.P船橋東
10月 31日	印西LCチャーターナイト	印旛高校体育館	12月 5日	総武中央LC 15周年

発 行 人

PR情報委員長：中村清成 副委員長：和田孝 編集委員：森秀夫、林英一
PR情報委員：伊藤健司、木下務、潮田洸、長島彪、佐久間源隆、渡辺忠治、渡辺豊



内 局 だ よ り

「始は処女の如く」というが、藤田キャビネットも処女の如く滑り出した。但し、トウの立った処女ではある。ガバナーおよびキャビネットの職責は、地区内会員大方の暖かい受け入れ姿勢がなければ務まるものではない。いかに高い理想を掲げたところで、会員諸氏の理解と賛同を得られなければ画餅である。いかに有能高潔なガバナーであるとも、会員諸氏から愛されなければ飾物にすぎない。藤田ガバナーはじめ私達キャビネット構成員一同は、果して会員諸氏から愛していただけるか否か、を第一の関心事とした。大家族の長男の嫁の心境に似たところだが、会員諸氏の回答又は反応は未だ不明である。

しかし、いつまでも右顧左眄してはいられない。公式訪問が始まり、藤田キャビネットの真価が問われる時がきた。できうる限り濃やかに私達の考え方を訴えて行きたいと思う。「後は脱兎の如し」ではなくて、最後まで初々しく頑張る所存であるから、地区内会員諸氏の御支援を乞うものである。

ところで大変事務的な話にトーンダウンして恐縮ですが紙面をかりて各クラブの三役さんへ二、三お断りを申し上げます。

- (1) 各種分担金につき早速支払手続をとっていただきましたこと感謝にたえません。但し、振込先口座の間違いが相当数あります。振込の際は、口座

を確認した上で手続をとられますよう願います。

- (2) マンスリーレポートはいずれも期限内に到達しておりますが、宛先ちがいが見受けられます。用紙の色別で宛先が区別してありますから、この点御留意を願います。

またその他の回答文では期限内に到着しない状況も散見されます。期限の厳守を何卒よろしく。

- (3) つぎに、鬼が笑う来年の願いを一つ。来年度地区年次大会（於習志野市）への参加予定者数の予備調査をいたしたところ些かさびしい結果が出ております。主催者側としては、参加者の数の多少は気になる点です。皆様の友情により大会を盛り上げていただきたく存じます。又、引きつづき複合地区年次大会が千葉市に於いて開催されますので、併せて御留意御配慮を願います。

- (4) 最後にうれしいお知らせがあります。ライオンズクラブのYE活動を千葉テレビがとり上げてくれ、来る10月27日午前9時30分から同月31日午前11時から、いずれも30分「広がるホームステイ」と題して紹介放映します。多くのメンバーが見て下さることを期待します。

以上とりとめもない報告となりましたが、第1回の内局だよりといたします。

(L 渡辺 淳記)

訃 報

謹しんでご冥福をお祈り申し上げます。

鴨 川LC 故L野村 作治 昭和57年7月20日
館山中央LC 故L風間 俊男 昭和57年7月29日
千 葉LC 故L上村美須丸 昭和57年7月14日

例会場及び事務局変更

佐倉LC 佐倉市商工会館 TEL0434-86-2331
〒285 佐倉市六崎字町田 283-1

印西LC 印旛郡印西町木下樽場 1521-194
事務局 TEL0476-42-5440

東金LC 例会時間 4月～9月 19:00～20:00
10月～3月 18:30～19:30

木更津中央LC 例会日 第1・第3木曜
(お詫び)

地区ニュース1号会長紹介 4R1Z神崎LC会長L石原 清が他の氏名となっておりましたので訂正しお詫び申し上げます。

6RDDGL平井 勇が平山となっておりますので平井と訂正しお詫び申し上げます。

地区特別運営委員長L北村泰彦紹介洩お詫び申し上げます。

編集後記

机を囲んで4つの頭が動いている。手にお厚い原稿を持って、大きな声を張上げている。7月19日夜の編集会議の模様です。第1号の地区ニュースは、150名の役員紹介があり、同数の原稿があったのです。一字づつ読上校正を致しましたが一部の方々の誤字や紹介もれのありました事を深くおわび致します。

7月19日の第一回キャビネット会議の後、原稿の校正を致しましたので深夜までかかりました。一日も早く地区ニュースを皆様の手元と思い努力し8月始めに各クラブに送りました。第二号地区ニュースは各R、各Zより新鮮なアクティビティやニュースを投稿いただきました。世界会長のプロトコールや多彩な記事をお見せ出来たと自己満足と共に反省もしております。10月8日の世界ライオンズデーに向い、アクティビティにおいてもクラブ運営においても一番油の乗った時であります。不馴れな私共も次号も、スムーズに地区ニュースが発刊出来そうですよう御協力をお願い致します。

L 和田 孝